

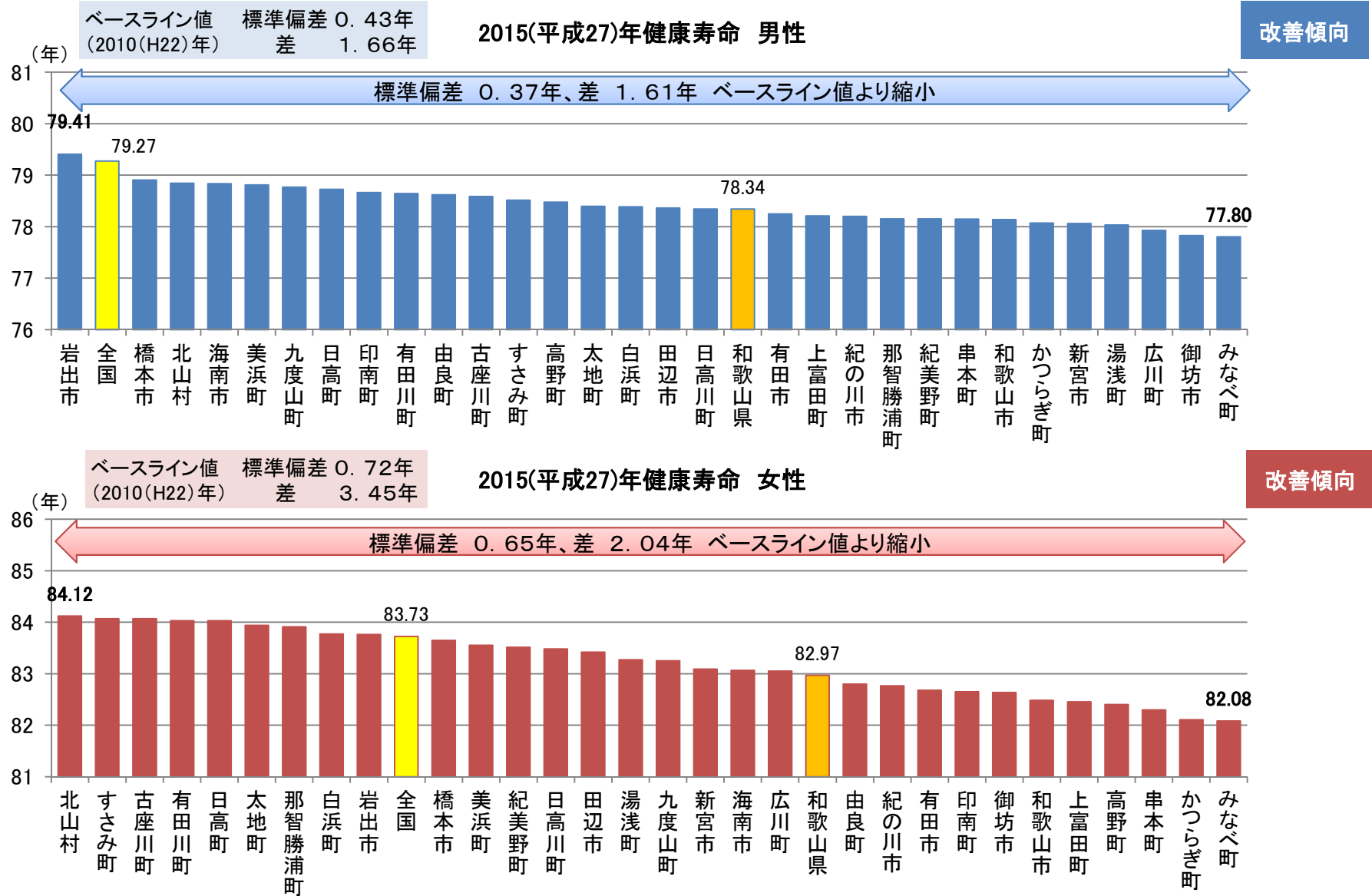
2019年12月26日
和歌山県地域・職域連携推進協議会
配布資料

資料1-3

第三次和歌山県健康増進計画 目標値に対する進捗（平成30年度）

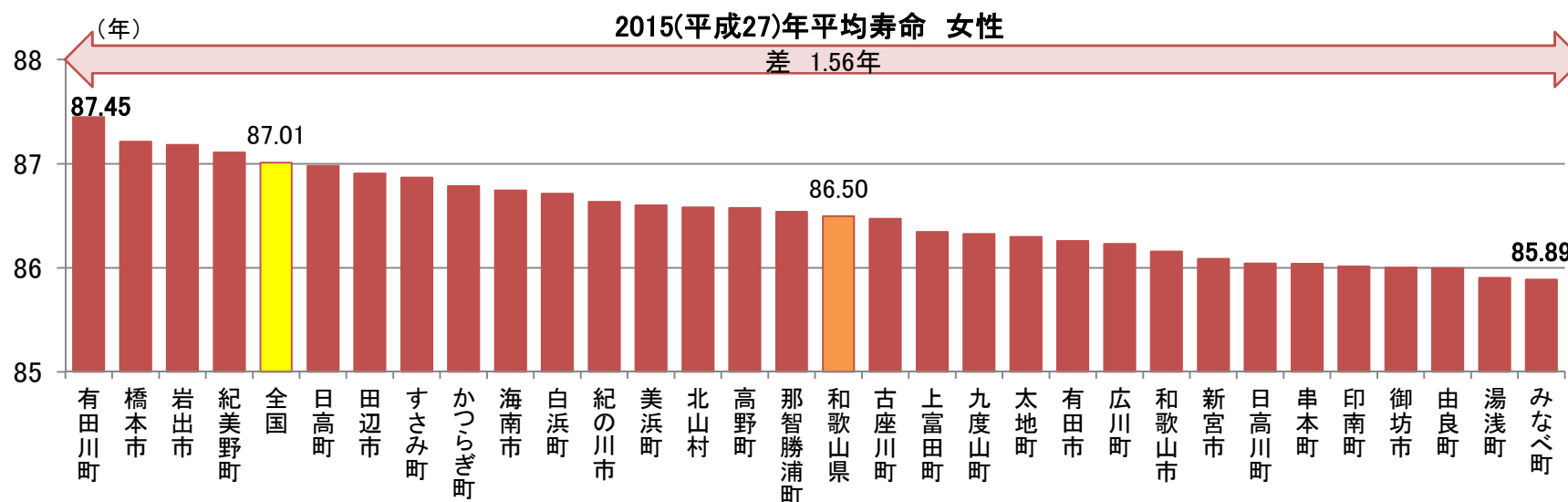
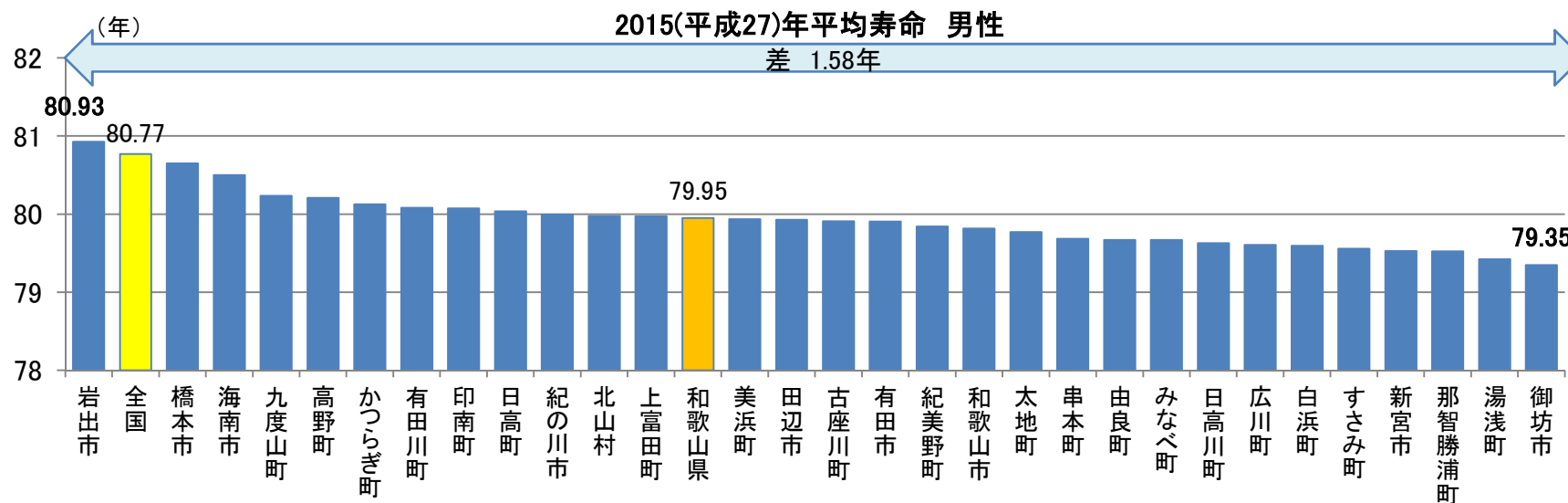
和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

目標2 健康格差の縮小(日常生活動作が自立している期間の平均の市町村格差の縮小)



出典:平成24年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班(研究代表者 橋本修二 藤田保健衛生大学医学部教授)による「健康寿命の算定プログラム」URL:<http://toukei.umin.jp/kenkoujyumyou/>健康寿命の算定方法の指針(平成24年9月)を使用し、和歌山県が算出

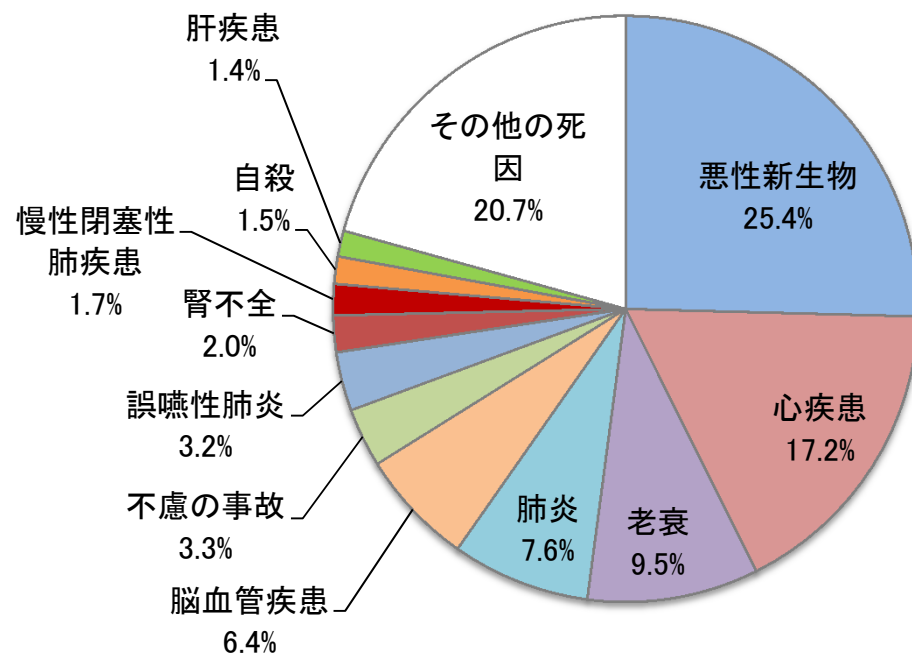
目標項目2(参考) 市町村別平均寿命



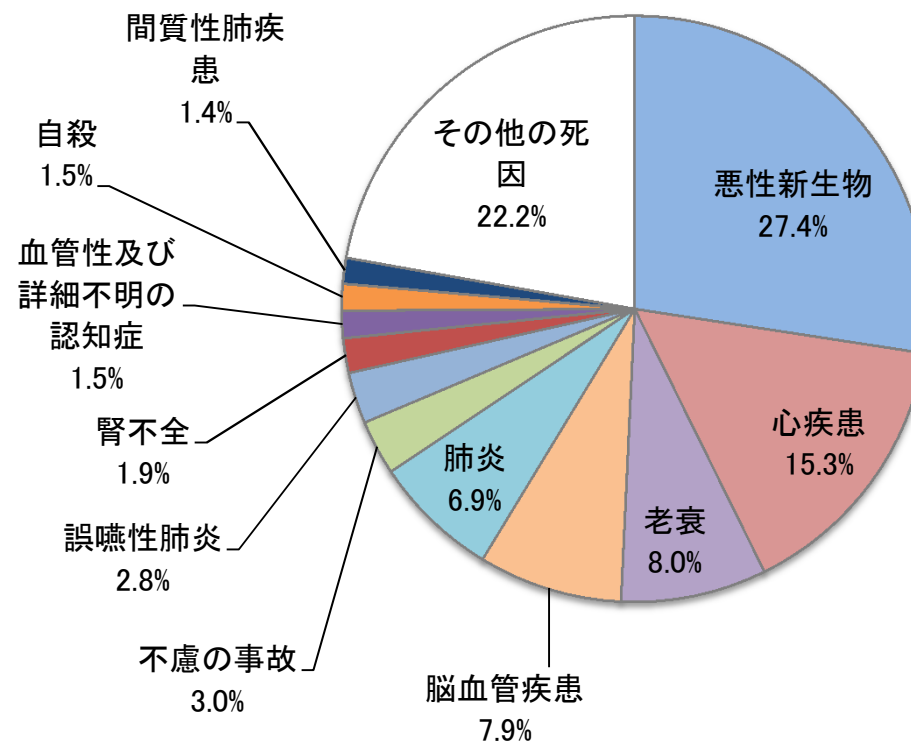
出典:平成27年市区町村別生命表

目標項目2(参考) 2018(平成30)年死亡割合

2018(H30)和歌山県 総数



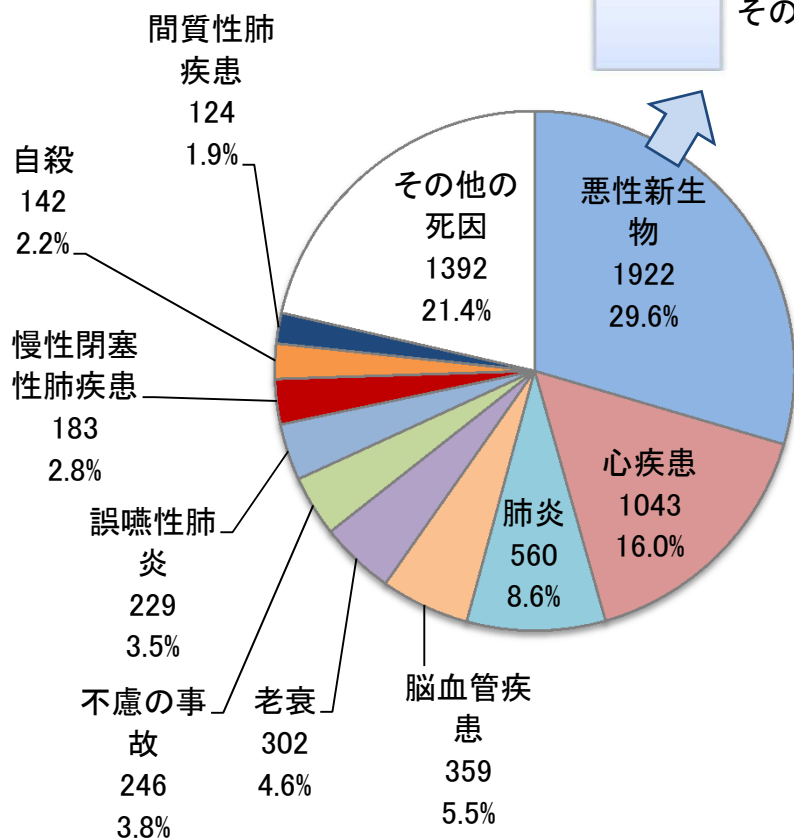
H2018(30)全国 総数



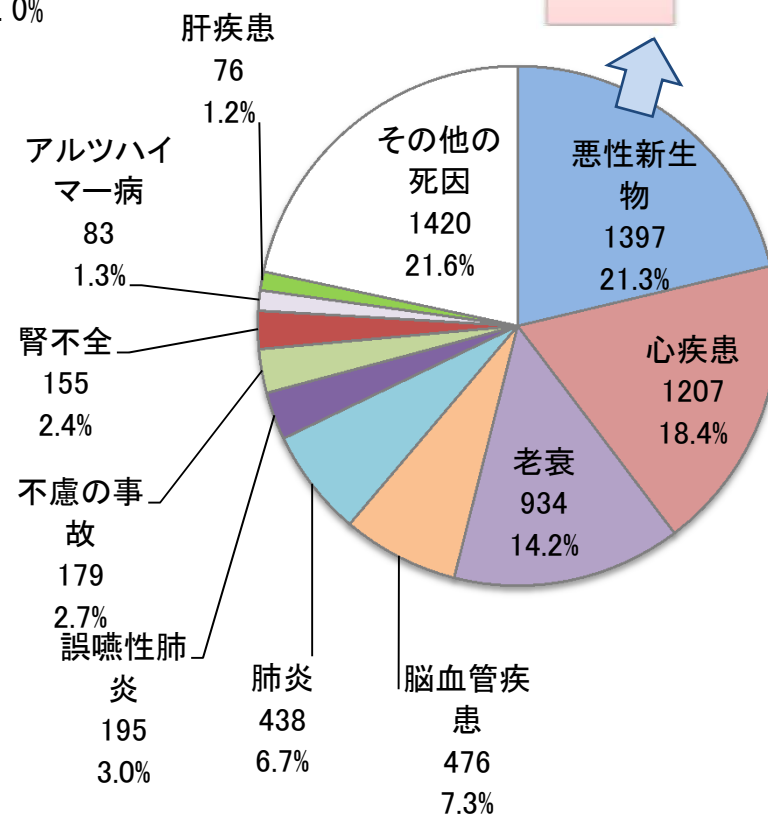
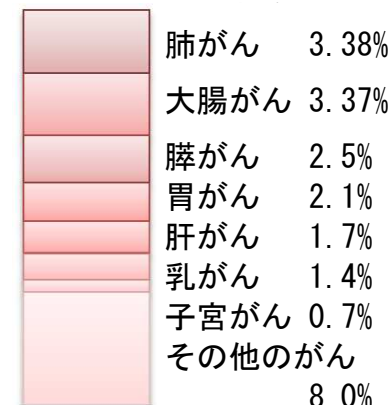
2018(平成30)年の和歌山県の死因割合は、悪性新生物が全体の4分の1で最も多く、心疾患、老衰、肺炎、脳血管疾患の順に多い。

目標項目2(参考) 平成30年死亡割合

和歌山県 男性



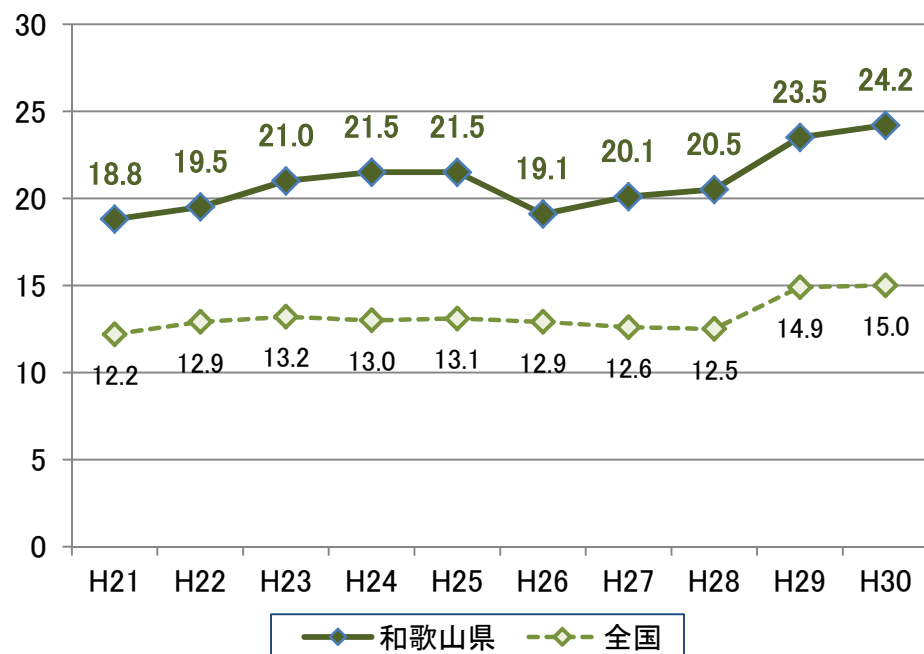
和歌山県 女性



出典：平成30年人口動態統計(確定数)

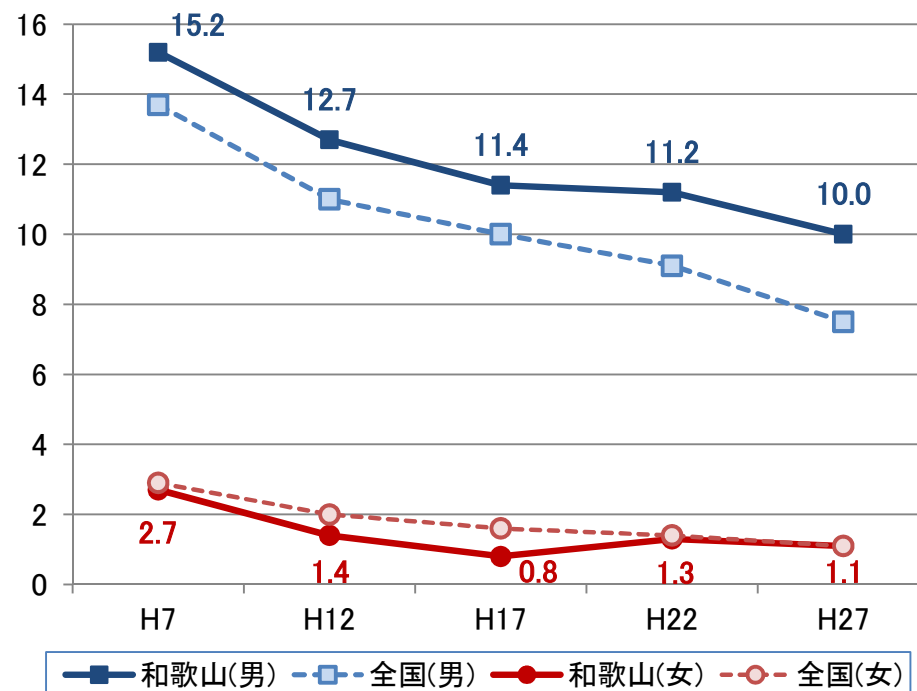
目標項目2(参考) COPD(慢性閉塞性肺疾患)死亡率

慢性閉塞性肺疾患(COPD)粗死亡率(人口千対)



年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国順位	1	2	2	1	2	4	2	1	3	1

慢性閉塞性肺疾患(COPD)年齢調整死亡率(人口千対)



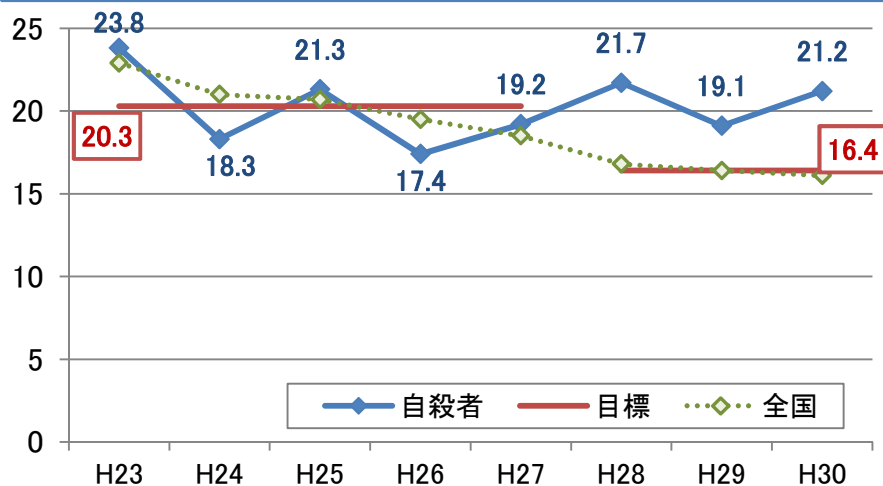
年	H7	H12	H17	H22	H27
男性順位	13	12	8	2	2
女性順位	25	38	44	17	18

慢性閉塞性肺疾患(COPD)の粗死亡率は、この数年増加傾向であるが、男性の年齢調整死亡率では、減少傾向にあり、全国順位は高い。

出典:粗死亡率「人口動態統計(確定数)」 年齢調整死亡率「平成27年人口動態特殊報告」

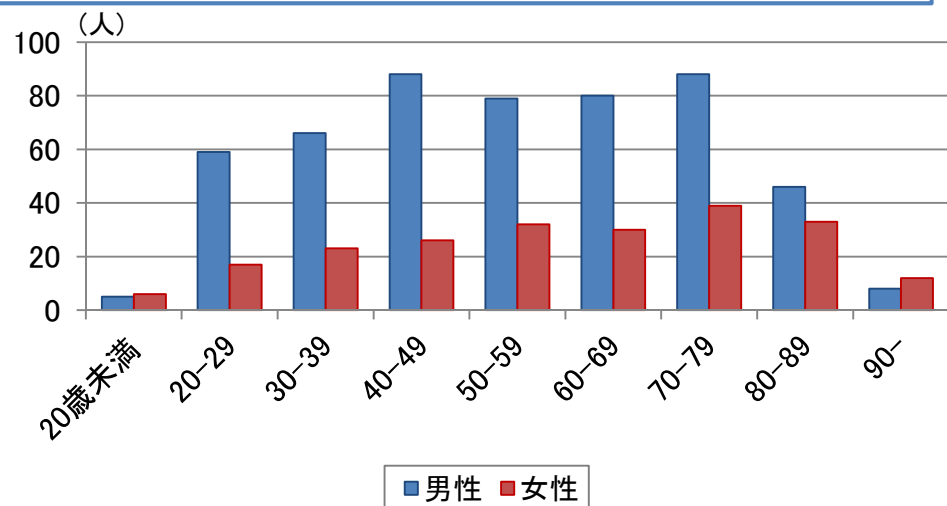
目標項目15 自殺死亡者の減少

2018(H30)年 自殺 粗死亡率(人口10万対)

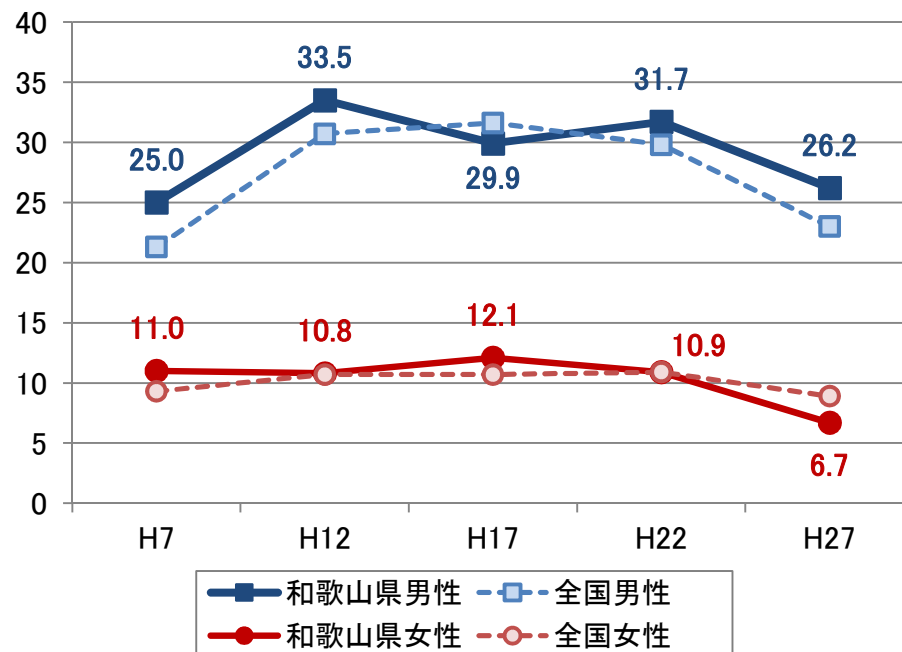


年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国順位	20	42	18	39	18	4	8	1

2014-2017(H26-29)年 自殺死亡数



自殺 年齢調整死亡率(人口10万対)



年	H7	H12	H17	H22	H27
男性順位	12	15	33	19	12
女性順位	6	22	7	19	43

自殺の粗死亡率は、2018(平成30)年人口動態統計で全国で最も高かった。

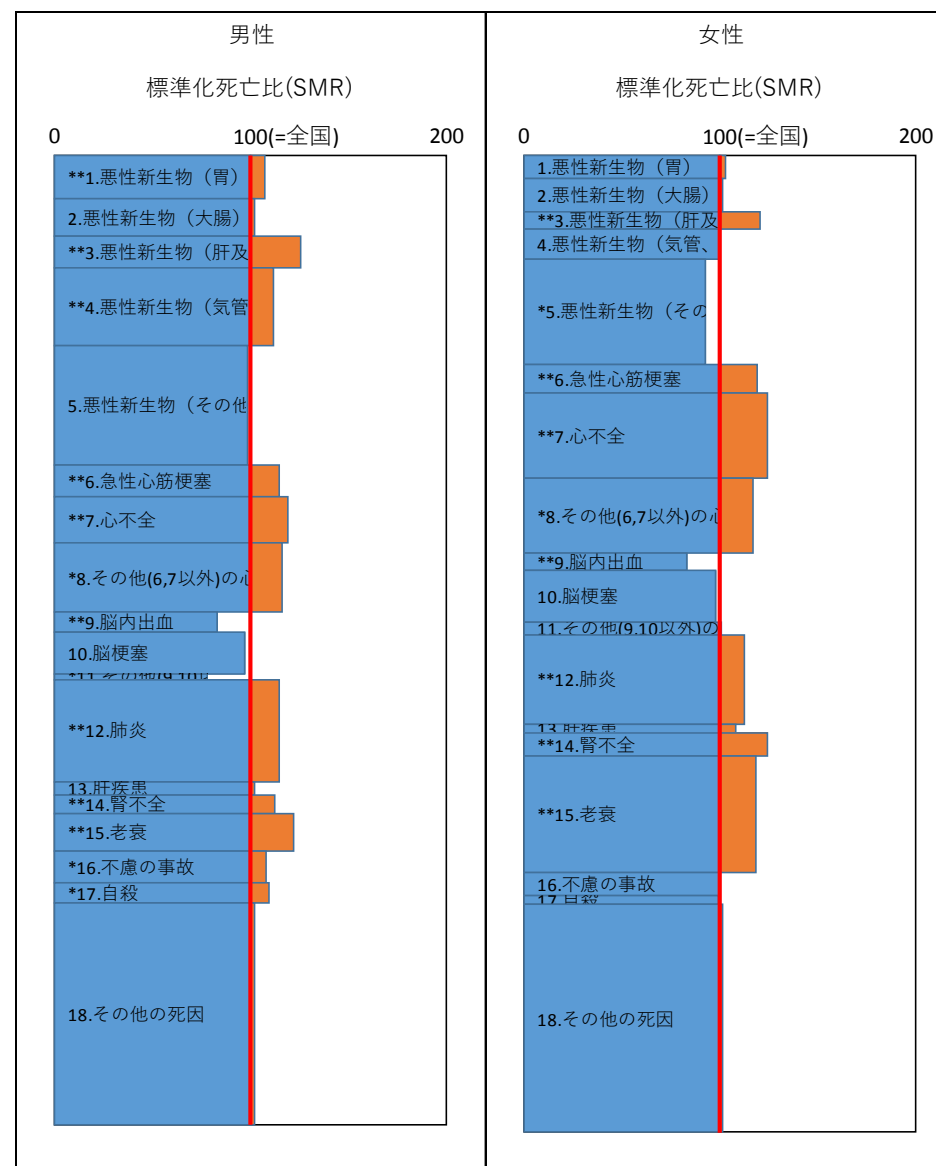
また、年齢調整死亡率は、報告年によって増減があり、粗死亡率とともに経過を見ていく。

出典:粗死亡率「人口動態統計」、年齢調整死亡率「特殊人口動態統計」

目標項目2(参考) 和歌山県 2013~2017年 死因別標準化死亡比(SMR)

和歌山県(SMR) 2013~2017年 死因別標準化死亡比(SMR)

	男性			女性		
	SMR	死亡数	過剰死亡数	SMR	死亡数	過剰死亡数
死亡総数	107 *	31528	1991	107 *	31794	1979
悪性新生物	106 *	10069	532	98	6809	-120
1.悪性新生物(胃)	108 *	1444	102	103	767	24
2.悪性新生物(大腸)	102	1176	25	102	1071	19
3.悪性新生物(肝及び肝内胆管)	126 *	1031	212	121 *	562	97
4.悪性新生物(気管、気管支及び肺)	111 *	2564	264	100	975	1
5.悪性新生物(その他)	98	3854	-71	93 *	3434	-262
心疾患(高血圧性疾患を除く)	117 *	4809	684	120 *	6136	1038
6.急性心筋梗塞	114 *	1052	133	119 *	923	146
7.心不全	119 *	1515	241	124 *	2797	548
8.その他(6,7以外)の心疾患	116 *	2242	311	117 *	2416	344
脳血管疾患	91 *	2179	-225	95 *	2664	-148
9.脳内出血	83 *	635	-132	83 *	578	-117
10.脳梗塞	97	1351	-37	98	1652	-34
11.その他(9,10以外)の脳血管疾患	78 *	193	-56	101	434	3
12.肺炎	115 *	3320	430	113 *	2902	323
13.肝疾患	102	435	8	108	283	22
14.腎不全	113 *	621	71	125 *	767	151
15.老衰	122 *	1208	220	119 *	3769	591
16.不慮の事故	108 *	1045	76	100	777	3
17.自殺	110 *	662	59	99	283	-2
18.その他の死因	102	7180	135	102	7404	122



* P<0.05. 死亡数=0(ピリオドで表記)の死因があると、5, 8, 11, 18番の死因計算に誤差が生じます。

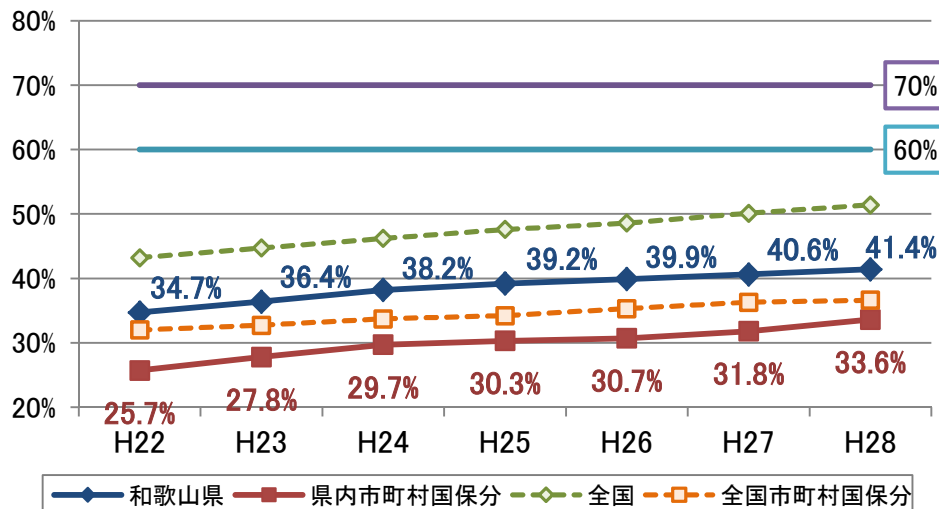
棒の縦高さが期待死亡数に比例、棒の面積が死亡数に比例する。(面積で男女比較も可能)

目標項目8 特定健康診査の実施率の向上

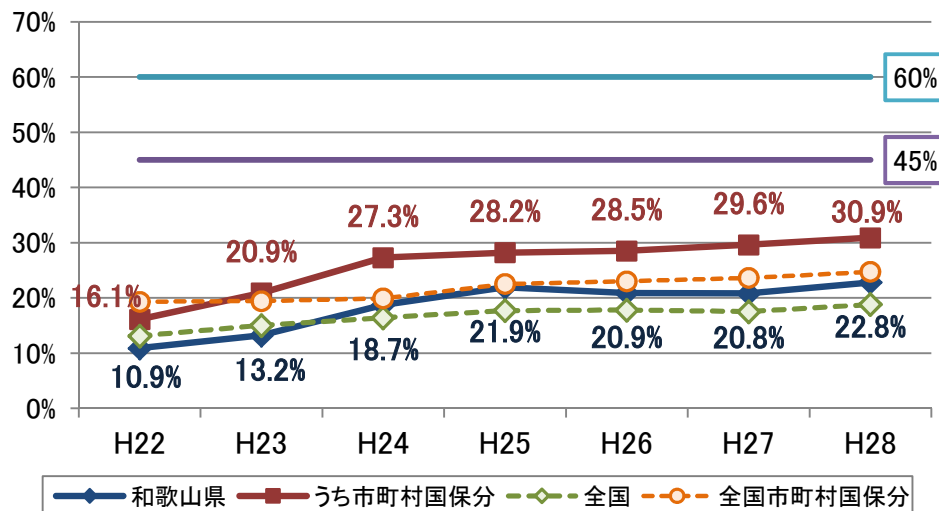
目標項目9 特定保健指導の実施率の向上

目標項目10 メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少

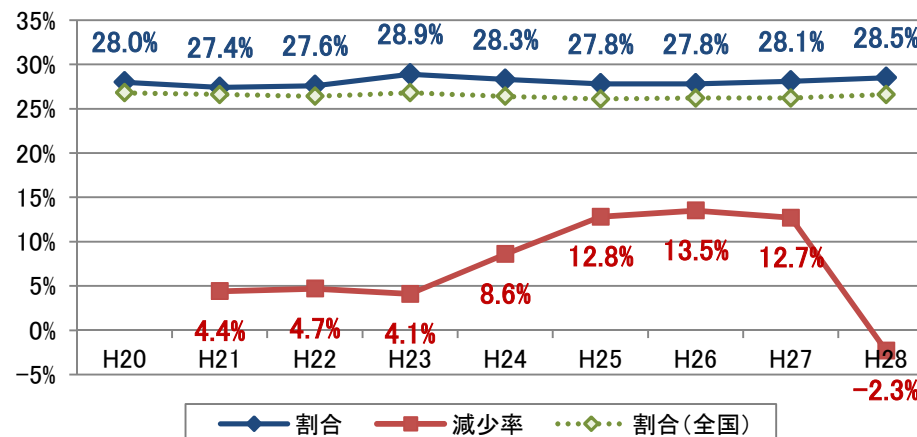
8 特定健康診査の実施率



9 特定保健指導の実施率



10 メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合と減少率(20年度比)



※ 減少率は、実数で算出した場合、年度ごとの特定健診実施率の高低の影響を受けるため、それぞれの出現割合に各年度の住民基本台帳人口を乗じた推定数により算出した。

なお、年齢構成の変化の影響を少なくするため、性・年齢階級(5歳階級)別に推定数を算出し、その合計により、減少率を算出した。

特定健康診査・特定保健指導の実施率は、県全体、市町村国保ともに増加傾向にあるが、目標値には達していない。

また、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率(20年度比)は2016(平成28)年度の報告で-2.3%と悪化している。

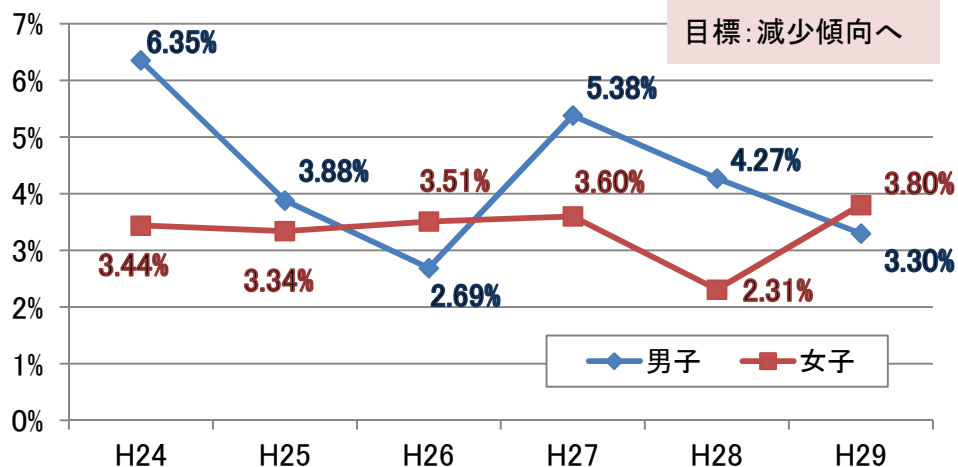
出典: 8、9、10: 特定健康診査・特定保健指導の実施状況
10 減少率: 「医療費適正化計画進捗評価用ツール」を用いて算出

目標項目20 肥満傾向にある子供の割合

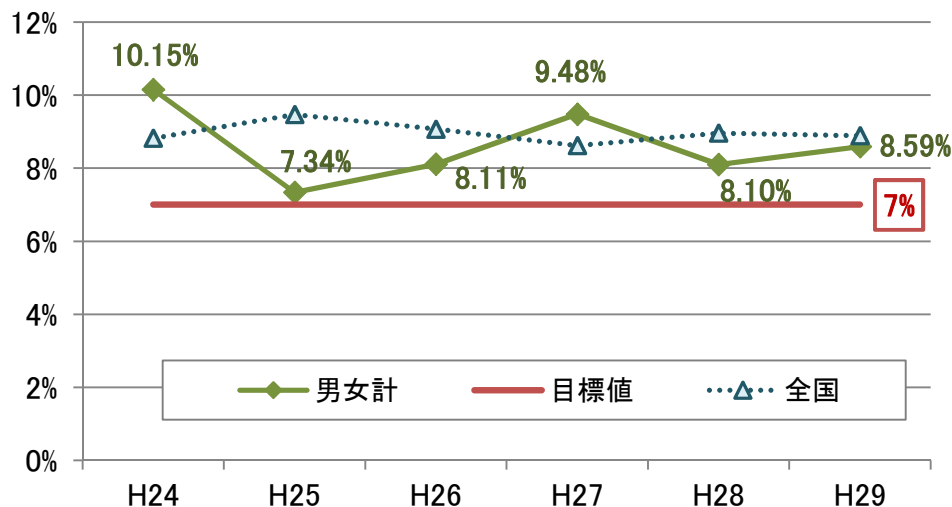
和歌山県健康増進計画(第3次)策定時の目標設定

健康日本21(第2次)の目標設定変更に伴い、和歌山県健康増進計画(第3次)目標設定を変更

20 肥満傾向にある子供の割合
(小学5年生の中等度・高度肥満傾向児
(肥満度30%以上)の割合)

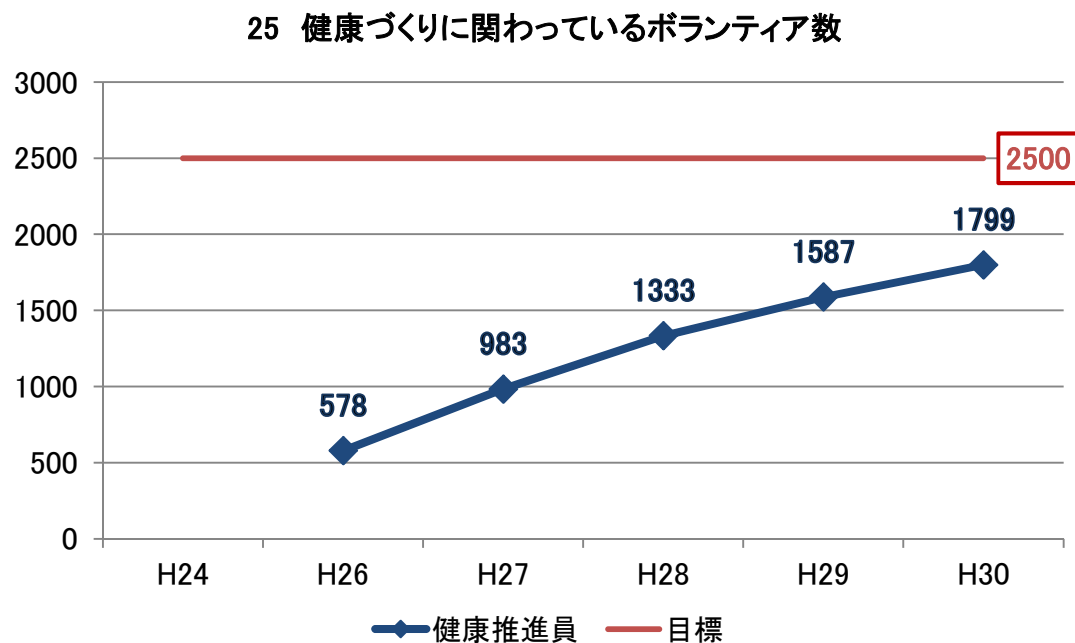


20 肥満傾向にある子どもの割合
(小学校5年生の肥満傾向児(肥満度20%以上)の割合)



肥満度20%以上の肥満傾向にある子供の割合(右グラフ)をみると、年度によりばらつきがある。また、全国の割合より高くなったり低くなったりしており、目標の7%以上で推移している。

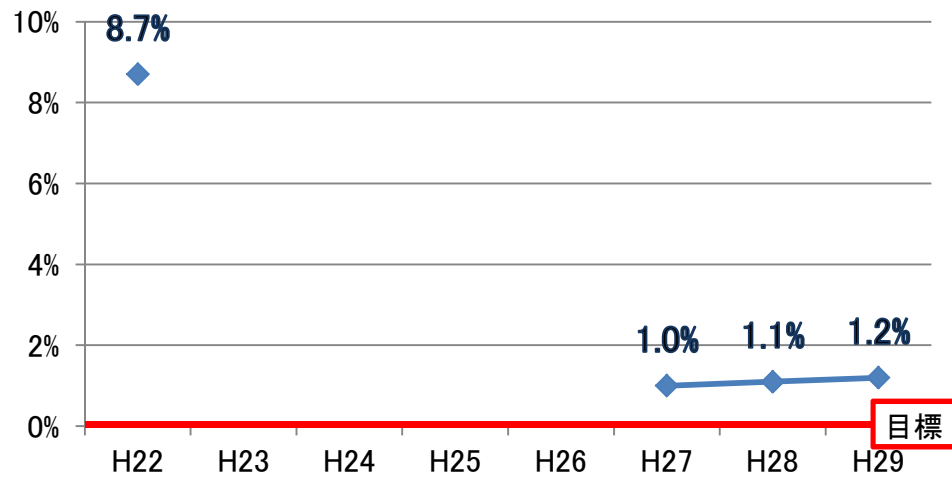
目標項目25 健康づくりに関わっているボランティアの増加



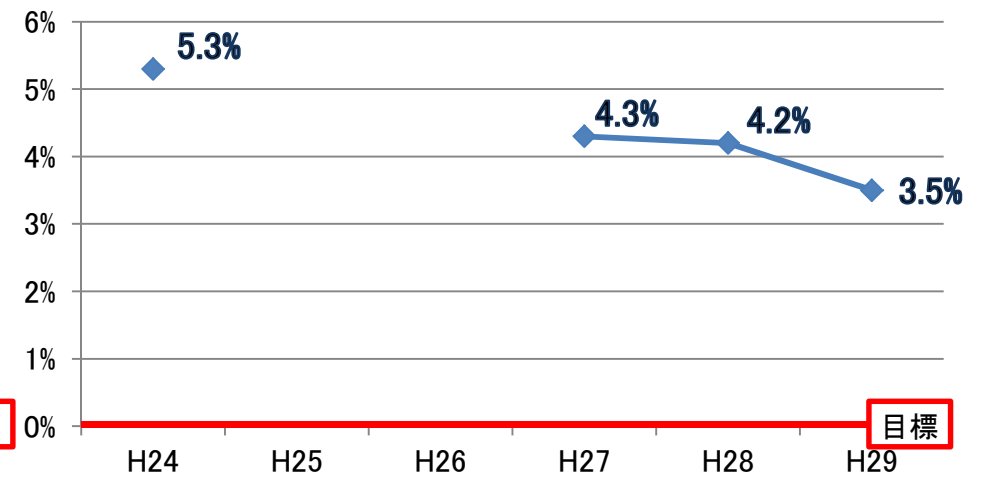
2014(平成26)年度から5年間に健康推進員を1年度500人を目標に養成してきた(2018(平成30)年で2,500人)が、2018(平成30)年度の養成者累計は、1,799人でした。

目標項目38 妊娠中の飲酒をなくす
目標項目41 妊娠中の喫煙をなくす

38 妊娠中に飲酒した者の割合



41 妊娠中の喫煙率



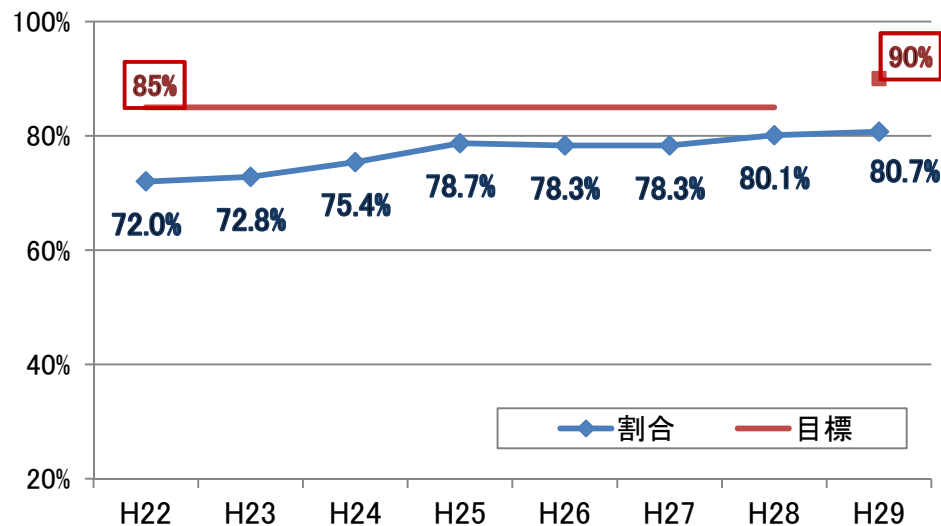
妊娠中に飲酒した者の割合は、1%で推移している。妊娠中に喫煙した者の割合は2017(平成29)年度で3.5%で減少している。

妊娠中の飲酒や喫煙は、胎児の成長と発達に大きな影響があるため、妊娠届出時など保健指導の充実を図る必要がある。

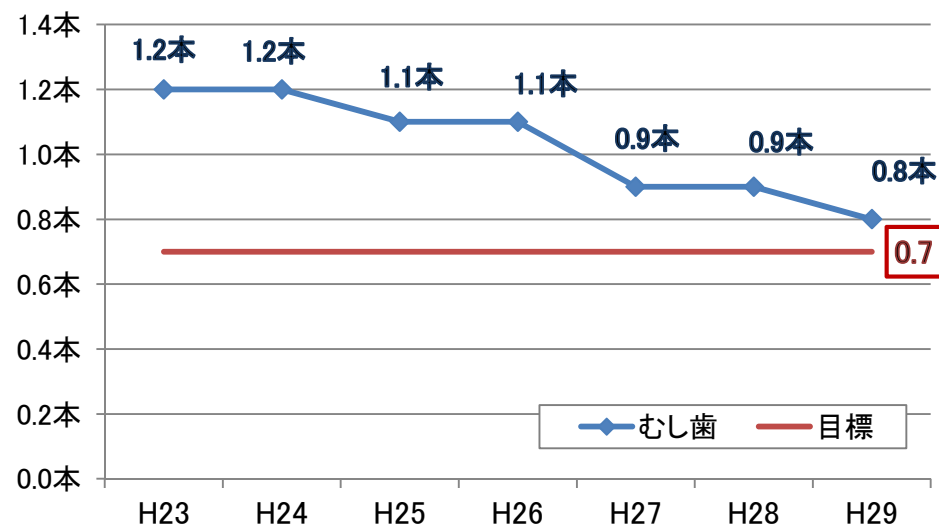
出典：ベースライン値は、飲酒「乳幼児身体発育調査(厚生労働省)」、喫煙「妊婦の喫煙や飲酒に関する調査(和歌山県)」による。
平成27年度から「健やか親子21(第2次)」の指標に基づく乳幼児健康診査必須項目集計(和歌山県分)

目標項目43 3歳児でむし歯のない者の割合の増加
 目標項目44 12歳児の一人平均むし歯数の減少
 目標項目45 12歳児のむし歯のない者の割合の増加

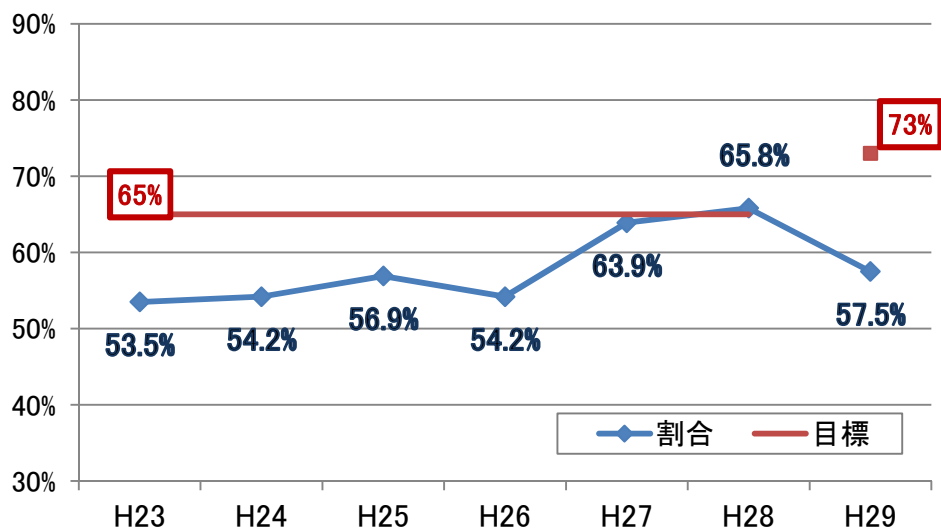
43 3歳児でむし歯のない者の割合



44 12歳児の一人平均むし歯数



45 12歳児のむし歯のない者の割合



出典:

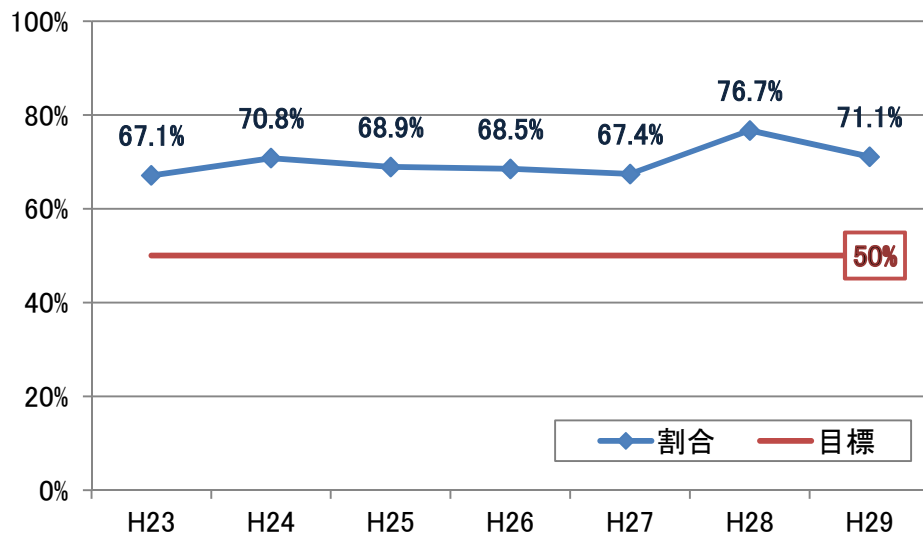
43: 厚生労働省「母子保健実施状況調」

44: 和歌山県教育委員会「定期健康診断結果報告書」

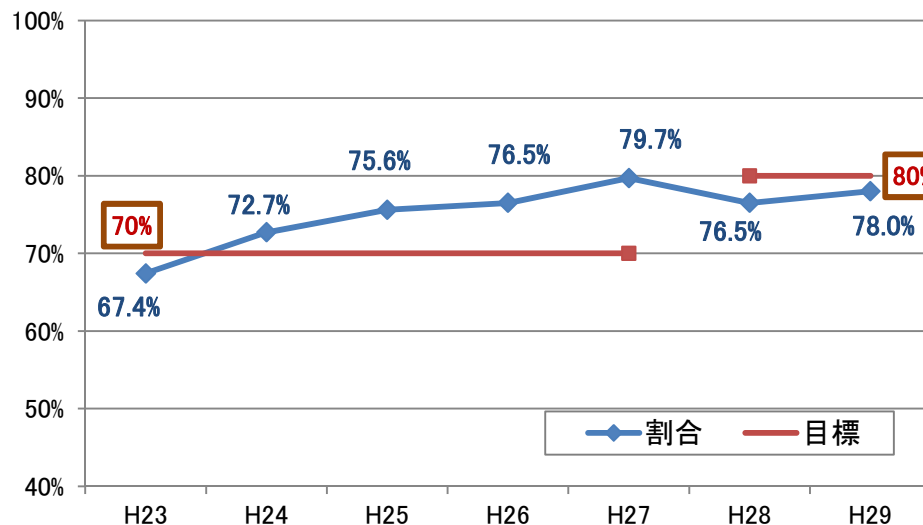
45: 文部科学省「学校保健統計調査」

目標項目46 60歳における進行した歯周炎を有する者の割合の減少
 目標項目47 60歳における24歯以上自分の歯を有する者の割合の増加
 目標項目49 60歳における咀嚼良好者の割合の増加

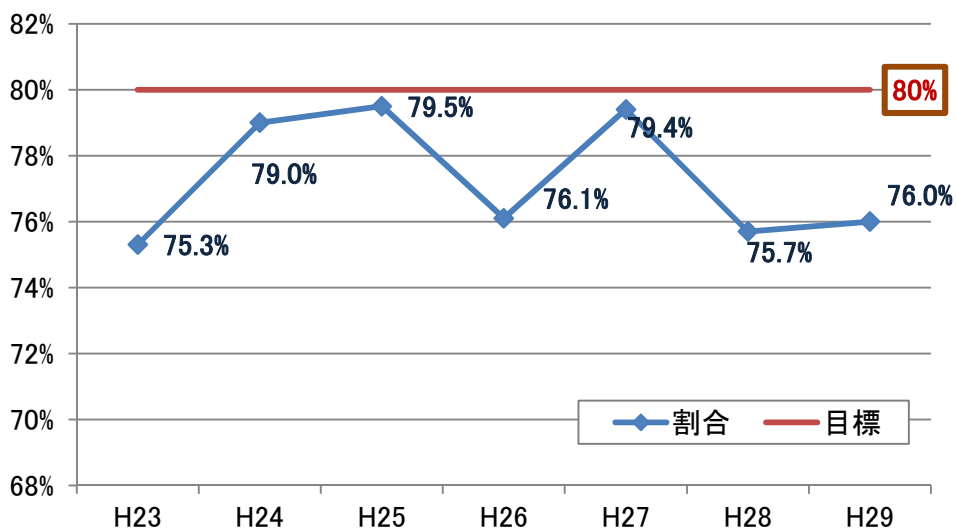
46 60歳における進行した歯周炎を有する者



47 60歳における24歯以上の自分の歯を有する者



49 60歳における咀嚼良好者



出典：
 46,47,49: 和歌山県歯科医師会「歯周疾患健診結果」

中間評価以降の目標値の設定の変更について(案)

評価項目		策定時の ベースライン値	計画策定時の 目標	直近値	計画終期の 目標	目標の設定
19	全出生数の低体重時の割合の減少	9.9% (2011年)	減少傾向へ (2019年)	9.6% (2015年)	減少傾向へ (2023年)	計画策定時と同じ(期間延長のみ) 健康日本21(第2次)中間評価後の目標値
20	肥満傾向にある子供の割合の減少 (小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合) *肥満度30%以上	男子 6.35% 女子 3.44% (2012年)	減少傾向へ (2019年)	男子 4.17% 女子 2.31% (2016年)	(参考値とする)	健康日本21(第2次)中間評価後の目標値 小学校5年生の中等度高度肥満傾向児(肥満度30%以上)の割合から肥満傾向児(肥満度20%以上)の割合に変更
	(小学校5年生(男女計)の肥満傾向児の割合) *肥満度20%以上	(参考) 10.15% (2012年)	—	8.59% (2016年)	7% (2023年)	
25	健康づくりに関わっているボランティアの増加	健康推進員 1,333人 (2016年度末)	健康推進員 2,500人 (2018年)	健康推進員 1,799人 (2018年度末)	健康推進員 2,500人 (2023年)	県独自目標 策定時の目標値は、1年度当たり500人を養成
38	妊娠中の飲酒をなくす	1.1% (2016年度)	0% (2019年)	1.1% (2016年度)	0% (2023年)	計画策定時と同じ(期間延長) 健康日本21(第2次)中間評価後の目標値
41	妊娠中の喫煙をなくす	4.2% (2016年度)	0% (2019年)	4.2% (2016年度)	0% (2023年度)	計画策定時と同じ(期間延長) 健康日本21(第2次)中間評価後の目標値

*健康日本21(第2次)の計画終期は2022年であるが、県健康増進計画は中間評価時に他の計画と整合性を図るため1年延長し、2023年としている。

対策の方向性と中間評価以降の状況 1

◆「運動」、「食生活」、「喫煙対策」などの取組をさらに強化するため、健康長寿わかやま県民運動を推進する。

全体

- 県地域・職域連携推進協議会をより活性化し、関係機関の連携を強化
- 糖尿病性腎症重症化予防対策の推進
- 健康推進事業所の認定（令和元年8月31日現在、47事業所）
全国保険協会和歌山支部と「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を共同実施し、参加事業所を募集（平成30年度登録 236事業所、令和元年12月12日現在登録 370事業所）

運動

- 「健康づくり運動ポイント事業」の推進
（平成30年度末：個人4,746人、自治会84か所、事業所51か所
令和元年12月2日現在 個人7,128人、自治会84か所、事業所73か所）
- 啓発教材「わかやま健康ものがたり」を作成し、乳幼児期や小・中・高等学校で実施する健康教育の充実
- ウォーキングイベントの実施支援
- 健康と食のフェスタ実施時、ウォーキングイベントを同時開催

対策の方向性と中間評価以降の状況 2

野菜摂取量の増加 ・減塩

- 野菜摂取促進や減塩に関する啓発
(企業とタイアップした啓発イベントを実施、啓発物を配布)
- 啓発教材「わかやま健康ものがたり」を作成し、乳幼児期や小・中・高等学校で実施する健康教育の充実
(保健所や市町村へ配布。各学校あてに活用を依頼)
- 健康と食のフェスタ実施するなど、体験できる機会を充実
(平成30年度 8,000人来場。令和元年度は、ねんりんピック内で開催)

喫煙対策

- 未成年の防煙教育、妊娠中や育児期間中の親に禁煙や受動喫煙防止について啓発教材を作成し、情報提供及び禁煙を支援
- 受動喫煙防止対策は、健康増進法改正の周知を実施
(ポスター、リーフレットによる周知や県政おはなし講座(出前講座)の実施。世界禁煙デーや健康と食のフェスタ等イベントでの啓発)
- 乳幼児期や小・中・高等学校で実施する健康教育の充実

その他

- 健康推進員の養成・・・2018年度目標としていた2,500人に及ばなかったため、継続して健康推進員養成事業を実施し、2,500人養成をめざす。
- がん対策(若年がん患者への支援)(今年度新規事業)
- 子供のむし歯ゼロ推進(今年度拡充事業)
- 和歌山県循環器病対策推進計画の策定
健康寿命の延伸を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法(循環器病対策基本法)の施行(令和元年12月1日)され、国が令和2年夏を目標に基本計画策定し、その後、都道府県計画を策定予定。
- 総合的な自殺対策の推進(障害福祉課今年度新規・拡充事業)・・・相談体制の強化、自殺未遂者の支援体制の構築